

ながさきDX推進プラン

【概要版】

令和8年3月
長崎県企画部

1. 位置づけ・計画期間

- ◆ 「総合計画」の個別計画として、『ながさきの誇りと希望を力に、みんなで夢あふれる未来をひらく』を実現するための各種施策をDX・デジタル技術活用の視点から明確化
- ◆ 令和8年度～12年度（2026年度～2030年度）

2. 背景・課題

- ◆ 人口減少・少子高齢化の進行や労働力不足、災害の激甚化・頻発化など、社会経済情勢が複雑・多様化する中において、変化を的確に捉えながら、様々な分野においてデジタル化やDXの推進をはじめ、最先端技術を効果的に活用した取組の加速化が必要となっています。
- ◆ 離島・半島地域が多い本県においては、デジタル技術を活用して、医療・介護や教育など日常生活に必要なサービスを提供しながら、地域社会機能を維持・確保していく必要があります。

3. めざす姿

- ◆ 暮らし、仕事、行政等の分野でデジタル技術を活用し、課題解決と新たな価値創造を一体的に進め、人とデジタルが共創し県民が豊かさを実感できる持続可能な地域社会をめざします。
 - ▶【安心して便利に暮らせるデジタル社会】
 - ▶【AI等の先端技術を活用した持続可能な地域経営】
 - ▶【「新技術実装連携“絆”特区」等を活用した先端技術の実装】
 - ▶【地域社会を支える持続可能なサービスの提供】
 - ▶【安全・安心なデジタル基盤の確立】



4. デジタル化・DXに取り組む視点

① 県民起点の価値創出

- ・ 県民の暮らしや働き方を含む多様なニーズに寄り添い、暮らし、仕事、行政等の分野でデジタル化・DXを推進

② 官民連携と共創

- ・ 企業・大学・地域団体など多様な主体と連携し、地域課題の解決と新たな価値創出を推進

③ データの利活用

- ・ 様々なデータの適正かつ効果的な利活用を推進し、課題解決とイノベーション、新サービスを創出

④ セキュリティと信頼性の確保

- ・ 安心・安全なデジタル社会を構築し、個人情報保護、AI倫理、情報の信頼性を確保

⑤ 人材育成と組織変革

- ・ DX人材の育成や確保、リスキングの推進とともに、組織文化の変革と部門横断の協働を促し、デジタルを活用できる体制を構築

⑥ イノベーションと実証フィールド

- ・ 国家戦略特区等を活かし先端技術の社会実装を加速させ、官民連携による地域課題解決と新産業創出を推進

⑦ 戦略的な情報発信

- ・ SNSやウェブサイト、オンラインなどデジタル技術の効果的な活用・効果検証により、県民に分かりやすく質の高い情報を提供

5. 推進体制

① 庁内推進体制

- ・ 副知事（CIO）を議長とする「長崎県デジタル戦略会議」において、庁内一体となってDXを推進

② 産学官連携による推進体制

- ・ 「ながさきSociety5.0推進プラットフォーム」等を活用し、産学官が連携して情報共有や意見交換等を行い、地域課題の解決や好事例の横展開を図りながら、県全域におけるデジタル実装を推進

③ 行政間の推進体制

- ・ 市町と連携し、デジタル人材の共同利用やノウハウの共有を進め、県内全体で施策の充実と地域DXを推進



3つの柱—19の分野における「めざす姿」の実現に向け、各種施策を確実に推進

※今回のプランでは分野毎の成果指標を新たに設定(全体版に掲載)

柱1 「こども・暮らし・まち」のDX

【めざす姿】

誰もが安心して暮らし、学び、育てることができるスマート地域社会

【分野】

こども、教育、医療、介護、健康づくり、安全・安心、環境保全、公共インフラ、防災・危機管理、地域公共交通、デジタル環境・次世代モビリティ

【施策ごとのめざす姿】

こども	◆ こどもたちがデジタルでつながる多様な学びを享受し、保護者が安心して子育てできる環境が整っている
暮らし	◆ 医療・福祉・防犯サービスなどが、デジタルでシームレスに提供されている
まち	◆ 安全・安心なインフラと移動手段がデジタルで支えられ、災害に強く便利で持続可能なスマートなまちとなっている

【主な取組】PICK UP

ODXによる子育て環境整備と多様な学びの保障

- ・プッシュ型子育て情報発信、保活のワンストップ化
- ・AI見守りなど保育ICTシステム導入の推進
- ・遠隔教育の充実、情報モラル教育の推進

○生活関連分野（健康・安心・環境）のスマート化

- ・オンライン診療導入の拡大、電子カルテ導入の促進
- ・見守り機器など介護テクノロジー導入への支援
- ・ながさき健康づくりアプリ「歩こーで！」活用の促進
- ・サイバーセキュリティ対策の推進
- ・廃棄物監視業務のデジタル化

○インフラ・防災・移動等を支える先端技術の活用

- ・ドローンや3次元データなどを活用したインフラ整備・点検
- ・AIの活用などによる防災情報システムの機能向上
- ・自動運転など次世代モビリティ等の導入促進
- ・デジタル人材の育成と活用推進

柱2 「しごと・にぎわい」のDX

【めざす姿】

デジタルで稼ぐ力と交流が創出され、活力と魅力が循環する地域社会

【分野】

産業、物産、水産業、農林業、観光、UIターン・関係人口

【施策ごとのめざす姿】

しごと	◆ 先端技術を活用したスマート化が進み、農林水産・製造・観光・物流など基幹産業の高付加価値化と生産性向上が図られている
にぎわい	◆ 国内外から人・情報が集まり、デジタルの力で地域の魅力が世界に発信されている

【主な取組】 PICK UP

○基幹産業のDXによる生産性と収益力の向上

- ・デジタル化に向けた事業者への伴走型支援の強化
- ・AI等を活用する県内スタートアップの支援
- ・赤潮等の環境モニタリングへのICT活用の促進
- ・施設園芸における環境制御技術導入の促進

○デジタルマーケティング等による地域ブランド価値の向上

- ・観光データ等を活用した効果的なプロモーション
- ・AIを活用した旅行計画案内のブラッシュアップ
- ・ECとリアル店舗を連動させた県産品のブランド化
- ・移住支援サイトやSNS等を活用した情報発信の促進

柱3 「行政」のDX

【めざす姿】

デジタル技術の活用により行政運営が効率化され、最適な行政サービスが利用できる地域社会

【分野】

行政運営、行政サービス

【主な取組】 PICK UP

○デジタル技術の活用による行政運営の効率化

- ・AI・RPAによる業務効率化、基幹システムの統廃合
- ・デジタル人材の育成・確保

○行政手続のオンライン化による行政サービスの向上

- ・行政手続のオンライン化拡大とキャッシュレス決済の機能強化
- ・押印・書面・対面等「アナログ規制」の見直し推進